

令和7年度 第1回相生小学校運営協議会 会議録（要点記録）

（敬称省略）

- 1 開催日時 令和7年5月12日（木） 13時20分から15時30分
- 2 開催場所 相生小学校 多目的室
- 3 出席委員 大谷 一雄、水谷 加寿代、廣野 篤男、原 隆之、森田 賢児、
鈴木 麻衣子、中川 有香（学校支援コーディネーター）、高橋克好
- 4 欠席委員 鈴木 徹也
- 5 オブザーバー 神谷 匠（東部協働センター）
- 6 学校関係 小林 延和（校長）、岡本 綾子（教頭）、前田 武稔（主幹教諭）、
伊藤 龍彦（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 伊藤 龍彦

9 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、鈴木麻衣子委員から大谷委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された大谷委員から、水谷委員を副会長に指名する旨の報告があった。

10 議長の選出

司会から、議長の選出について意見を求めたところ、中川委員が本日の議事を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）学校運営の基本方針について
- （2）夢育やらまいか事業（CS加算分）に対する意見書について
- （3）学校運営協議会の自己評価について

12 会議記録

司会の前田主幹教諭から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき、本年度の学校運営の基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 自分が思っただけでも、相手を傷つけた経験から、前回、長澤さんから教わったように、「ダメだ。」ではなく、うまく乗せてあげると相手に乗ってくる。子供たちと接する前には、しっかりと子供の名前を覚えることにした。名前と呼んであげると、子供たちの反応は違う。子供たちとの関係づくりができた。子供たちは、ダンスがすごくうまくて、浜松まつりで、ラッパ指導と交換条件で子供たちからダンスを教わった。子供たちの目の色が変わってきた。認めてあげると、対応がすごく変わってきた。いじめ対策で自分が始めたことは、名前を覚えること、接し方を変えたら、子供たちの心が開いてきた。良い成果が出たと感じている。
(原委員)
- ・ 参観をして、皆、落ち着いていた。さすが素晴らしいと感じた。
(会長)
- ・ 6年生の授業を参観して、先生との信頼関係が構築されていると感じた。学校・児童・親の三者の信頼関係がないと何事も進められない。
(廣野委員)
- ・ 和気あいあいと同じ目線で授業を進めている。自分の子供のころは、遊びが少なくよく外で遊んでいたが、大谷さんの話のように、2～3時間くらい外で遊んでいるのが良いと思う。スマホやゲームばかりで外遊びが減ってきている。
(高橋委員)
- ・ 高学年は、パソコンが多いのか？
(中川委員)
- ・ すべてではないが、子供たちは、その活用を考え、タブレットとノートの使い分けをしている。
(校長)
- ・ 6年生の字がとても上手に書かれていた。1年生と6年生の交流で、疲れたと発する児童が微笑ましかった。地域でもシニアや子供たちも一緒になった活動ができていければよいと思う。
(会長)
- ・ 現役世代を呼び込むという関わり合いが大切だと思う。
(麻衣子委員)
- ・ 男性の年配者が外に出ない。比較して、女性はよく出ていると思われるが、そういう方が、一緒に外に出てくれればよいと思う。
(会長)
- ・ 学校と地域の関わり合いについて、校内行事で、地域の方を呼ばない学校がある。その点では、相生小は地域との関わりが良いと思う。PTA 活動が薄れていく中で、相生小の実態として、活動費の95%をコンビニ収納で集めている。周囲から非常に驚かされている。相生小のスタイルを大切にしたい。私の所見だが、地域との関係づくりで相生小のDNAを受け継いで欲しい。
(森田委員)
- ・ 相生小は、地域に助けられている。そのことを身に染みて感じている。働き方改革で日々、考えさせられている。普段からの関わり合いで、応援団が十二分に機能していると感じている。保護者・地域の助け合いが、大変助かっている。第二回の学校運営会議には、職員、みんなで参加したいと考えている。
(校長)
- ・ 自治会連合会では、各学区で問題が噴出している。ただし、相生学区では、何も出ていないと認識している。
(廣野委員)
- ・ 自治会・保護者の活動に感謝している。
(森田委員)
- ・ 1年生の給食補助ボランティアに参加したが、学校との関わり合いを、他学区で聞くと、このようなボランティア活動で学校に行くことをうらやましがられた。
(水谷委員)
- ・ いじめで、ひどいことを言った子が自分のことをひどいと思っていない。ひどいことを言ってる子に注意できる体制が必要なのではないか。
(オブザーバー神谷さん)
- ・ 不登校児が年々増加していると思うが、学校の取り組みは？
(鈴木委員)
- ・ 自分の居場所をしっかりと見つけてほしい。親だけでは難しく、学校の関わり合いが必

要だと思う。子供たちの居場所をしっかりと見つけ、つながっている子はいいが、一人でいる子は難しいと感じている。 (校長)

- ・ 子供・親・地域との関係が、相生小はすごく良い。 (会長)
- ・ 先生からのボランティアの要望が多い。 (校長)
- ・ 子供のトラブルで、事件が増加している。地域の人出入りがしやすい反面、防犯の意識も必要になってきている。相生小学校での取り組みは？ (森田委員)
- ・ 防犯については、相生小では必ずインターホンで呼んでくれている。門を施錠することは実際のところ難しい。 (校長)
- ・ いろんな方が出入りしていることが、逆に入りづらくなるのではないか。 (森田委員)
- ・ 昨年から防犯カメラを3ヶ所設置している。 (校長)
- ・ 内向的な子は知らない大人が声掛けしても反応が鈍い。同級生同士で会話してから、好きなことを一緒に取り組んだりして、初めて話し合いができるようになってきた。一歩前進。その子のことを持ち上げてみたりして、話の輪に入ってくることができた。その子の心の小さなドアを開けられたと感じた。おとなしいのも個性、多様性だと思う。 (原委員)
- ・ 周りの子のすばらしさを感じる出来事ですね。放っておくは、本人にとっては、仲間外れと感じる。自分の力で一歩進むことができない子は、学校だけでは無理。地域との関係で前に進めていきたい。 (校長)

熟議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 夢育やらまいか事業(CS加算分)に対する意見書について

教頭より、夢育やらまいか事業について、別紙資料に基づき、説明があり、全員異議なく、拍手でこれを承認した。

(3) 学校運営協議会の自己評価について

会長より、別紙資料に基づき説明があり、全員異議なく賛同した。

その他の報告事項等

司会から令和7年度第2回学校運営協議会は、2025年7月25日(月)13:20~14:50 教職員全員参加にて多目的室で開催する旨の報告があった。